



コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和3年8月23日
NO. 51



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

私にとって輝いている人は
常に全力で取り組む姿勢のある人 (安室奈美恵)

一番大切なのは 諦めずにどんな状況でも
全力を尽くせる心の強さです (建築家 安藤忠雄)

さあ！前期後半・・・“全力”で

まだお盆気分も抜けないままに、夏休みもあっという間に過ぎてしまったように思います。新型コロナウイルス感染症の拡大が非常に心配される中ですが、今日から前期後半がスタートし、制約と慌ただしさの毎日に突入します。この期間は、様々な活動の充実期・活動の開花期、感動体験期（行事・生徒活動の充実、学習活動の充実）に当たります。制約、縮小等がありますし、非常事態にも備えなければなりません。行事・生徒活動への取組の工夫を通して、挑戦心、自己表現力、自己肯定感・自尊感情を高められるように、そして、授業や諸テスト、高校入試に向けた取組を通して、学力の一層の向上を図ることができる支援してまいります。

また、秋季休業を境に動的時期から静的時期へ、前期後半から後期前半へ移らなければなりません。そのため、身体的な休養を上手にとらせながら、気持ちの切り替えはしっかりさせ、先を見ながら計画的に、自分に必要なことに優先順位を付けながら取り組ませたいと考えています。

さて、前期後半始まりの今日、子どもたちは、今朝どんな朝を迎えたでしょうか？「もう朝か・・・」だったでしょうか？それとも「さあ朝だ！」だったでしょうか？どちらの気持ちでスタートしたかで、前期後半の第一歩が変わってきます。

3年前の夏、金足農業高校の活躍が秋田県を盛り上げました。まさに『地域活性化』、価値ある『地

域活性化』でした。その原動力は彼らの“全力”だと思っています。そう考えると、地域活性化はとてつもなく難しいことではなく、太中生でもできることです。“全力”の姿をいつも多くの人が見ているわけではありませんし、すぐに結果が得られないことも多くあります。でも、その姿を誰かは必ず見ていてくれます。そしてその姿は、人を引きつけ、応援を得られ、地域への貢献につながるはず。その姿の一つとして、5月には地域の方からの温かいお手紙を頂戴し、子どもたちの日常が地域の活力となっていること、地域全体が子どもたちを慈しみ、育てようとしてくれていることを再実感しました。

〈文武に全力 仲間を応援 地域に貢献〉この三つを「太田プライド」として、心に態度に行動に表すことが今年度の太田中の目標です。そして、それを実現させるためのキーワードが太田ism「さ・わ・や・か」太田です。

前期後半は、新人戦や3年修学旅行、1・2年体験学習、太中祭を始めとして、「わ＝笑い、や＝躍動、か＝関わり」行事・活動を可能な限り実施したいと考えておりますし、3年生は進路選択に向けて、1・2年生も学力向上に向けて、「さ＝才能」を伸ばす大切な期間、自分次第で大きく成長することができる『さ・わ・や・か』太田「開花の期間」です。

そんな前期後半を、今朝、「もう朝か・・・」と思った人は、「さあ朝だ！」の気持ちに切り替え、自分のためにも、地域のためにも、太田Prideに迫るため「さ・わ・や・か」に、そして“全力”でがんばってほしいものです。もちろん太中職員も、「さわやか」に“全力”でがんばっていきます。

さあ！前期後半、“全力”期間の始まりです。